

熊坂てつ 議会レポート

2000年9月発行 第19号

連絡先 〒243-0303 愛川町中津 3861 電話 046-2650755 <ホームページ> <http://www.tetsu-kumasaka.com/>

6月議会から、町道幣山下平線

議会は推進の意思表示

6月議会には、町道幣山下平線の建設推進を求める陳情が2本と、それに対して「区長」の名前を使った署名の集め方は民主的でないので、その実態を調査してほしいという陳情、町民ひとりひとりが何の足枷もなく自由に発言できる地域社会としての町づくりをすすめて欲しいという陳情の合計4本の陳情が出されました。

議会は、幣山下平線の建設推進を求める陳情2本を採択、他の2本を不採択にしました。私は、30数億円という莫大な費用がかかるというのに、町には将来を見越した財政計画もなく、また、道路予定地には絶滅が危惧される昆虫も生息しており、いま急いで道路建設を進めるべきではないと反対しました。(共産党は退席、他の議員は全員賛成)

ケーブルテレビの勉強会

6月20日、福祉センターで町職員と議員有志が参加、厚木伊勢原ケーブルネットワークより事業の内容および業界の動向について説明をうけた。愛川町への導入の可能性については、以下の通り。

- ◆ CATVは郵政省の許認可事業 目下のところ進出の計画はない。
- ◆ ただし、町からの協力・支援があれば、ぜひ、営業エリアの拡大を図りたい。
- ◆ 愛川町との境である上依知には今年の末ごろ光ファイバーがくる。
- ◆ 光ファイバー自体にはかなり余裕をもたせているので、愛川町までの北進は可能。
- ◆ 愛川町の中央を走る幹線道路の周辺について整備するとした場合、約7,000世帯、半分の世帯がカバーできる。概算費用は約3億円。
- ◆ もし、100%全域をカバーすることになれば、工事費用はプラス5億円、合計約で約8億円。

委員会の動き

今年度から、新しい試みとして所管事務調査が行われました。

一昨年、議会改革の中で提案されたものがやっと実現しました。いずれも今話題のホットなテーマについて調査が行われました。

総務常任委員会：職員の定数管理について
教育民生常任委員会：介護保険について
経済建設常任委員会：町道幣山下平線について

* 所管事務調査とは

それぞれの委員会が分担している町の仕事(所管事務)について調べる。そして、改善・改良すべき点を指摘したり、あるいは町に対して政策の提案などを行っていくこととなります。

* ケーブルテレビとは

NHK・民放や衛星からのBS・CS放送の電波を大型の高性能アンテナで受信し、ケーブルを通じて各家庭へ送信するので、ブレのない安定した画像・音声でテレビやFM放送が楽しめます。

最近、定額料金でいくら使っても電話代がかからない常時接続のインターネット・サービスがすごい人気です。

アンテナがいらず、地形や高圧電線などによる電波障害にも悩まされることもないCATVは、スポーツ、映画、音楽、文化などの専門チャンネルに加え、これからは小学校の運動会や議会中継、あるいは医療や福祉、教育、防災など地域情報を発信する基地として、大きな期待が寄せられています。

オリンピックを機会にBSデジタル放送もスタートしました。アメリカではCATV会社による電話サービスも行われています。これからのCATVはテレビだけでなく、家庭に直結した高速の光ファイバー網がいままでの電話回線に代わる情報・通信のインフラとして脚光を浴び、その可能性への期待がますます高まっています。

愛川町版 介護保険の 実施状況

介護保険

介護保険がスタートして6か月が過ぎようとしています。ようやく軌道にのってきたようですが、問題点も出てきました。

改善すべき点は改善して、よりよい制度にしていきましょう。長寿課に町の様子を伺いました。

<要介護認定>

申請された方481人のうち非該当の方が21人おられ、認定されたのは460人となっています。全体では、在宅での介護が60%で、全国平均の70%と比べると10%ほど低くなっています。介護度4と5の重度の人でも、47の方が在宅での介護を受けています。

<ケアプランの届け出>

対象者266人中245件の届け出がありました。介護サービスが利用できるのに利用しない人が21人いらっしゃるようになります。(※施設に入所している人は対象外です)

<苦情相談の件数>

4月から7月までの4か月間で9件が県へ報告されています。内容は、相談が5件、苦情が4件(利用料や自己負担の金額に関するもの)となっています。県の集計では、徐々に減ってきているようです。()内は愛川町

4月： 1,371件 (2)

5月： 705件 (4)

6月： 535件 (1)

<サービスの利用状況>

* 全体としてのサービスの利用は増えているものの限度額の半分程度しか使っていない人が多いようです。

* 川崎市の調査では、在宅サービスの利用率が4割に満たないというショッキングな結果が出ました。

* 在宅介護では、限度額いっぱい使ったとしてもまだ十分でないと言われていることから、介護保険が始まって家族の負担はあまり軽くなっていないと言えそうです。

区分	申請者の認定状況(7月末現在)			構成比(%)
	入所者	在宅者	合計	
非該当	1	20	21	4.4
要支援	5	42	47	9.8
要介護1	23	85	108	22.5
要介護2	30	72	102	21.2
要介護3	32	26	58	12.0
要介護4	60	31	91	18.9
要介護5	38	16	54	11.2
合計	189	292	481	100.0

* これを見ると、介護度が高くても在宅の人がかなりいらっしゃいます。要介護4の人で約50%、要介護5の人で約30%の人が在宅で介護を受けています。

<ショートステイ>

ショートステイは人気のメニューですが、介護度によって利用できる回数が制限されているためあまり利用されていないようです。

介護保険になっていちばん人気が出たのがデイサービスです。自宅に閉じこもらないで外に出ることが気分転換になりますし、また、家族にとってもその間に用事をすませたり、息抜きができるのでとても喜ばれています。

施設の方も満足していただけるサービスを提供しようとして一生懸命頑張っています。

<ホームヘルプサービス>

社会福祉協議会が運営するヘルパーステーションの利用者は、7月末で35人、利用時間数も昨年より上回っているようです。

身体介護：10%

複合型：30%

家事援助：60%

<出てきた問題点>

施設の側からは、複雑な事務手続きを何とかしてほしいという声が出ています。

* 入所希望者が多く、待機者が増えている。

* ショートステイをもっと利用しやすく。

* 移送サービスを望む声が多い。

<介護保険のアンケート>

町では、介護保険サービスの利用状況を調べるため、アンケートを実施します。

対象者は、要介護認定された460人のうちから200人を選び、アンケート用紙を送ってこれに答えてもらうというものです。

9月中旬までに回答していただき、今年中には結果をまとめたいとしています。

<こんな一幕も、....>

あまりの低いサービスの利用率にあまりかたがて、町長と話し合うついでに民生部長が、「折角の介護保険制度なのだから、遠慮しないでもっとサービスを利用していただきたい。」と呼びかける一幕も。(愛川町では、利用できる金額の1/3位

👤 初心者パソコン教室

初心者パソコン教室が、8月17、18、21日の3日間、神奈川工科大学の電子計算センターで行われました。

定員40名のところ117名もの希望者があったため、定員の枠を20名増やして60名の方が抽選で選ばれました。それにしてもすごい人気ですね。

中原中では、去年、親子パソコン教室が大変な人気でしたが、町内3中学校のパソコンもこの秋にはインターネットへの接続が完了するので、これからは中学のパソコン教室を使って、こういった企画をどんどんやってほしいですね。

しか使っていない人が多い)

すると、会場からさっと手が上がり、何も無理して使うことはないんじゃないかという声。サービスの利用が少ないのはいいことじゃないか。それよりも保険料を下げてもらいたいと。核心に迫る質問が飛んできた。

その迫力にはさすがの民生部長も一瞬たじろいでしまった。もちろん、部長さんはそんなつもりで言ったのではなく、介護保険というのはみんな支え合う制度なんだから、何も我慢してサービスの利用をひかえる必要はないですよ、もちろん無理して使う必要はないですが、無理して我慢する必要もないですよと、上手にサービスを利用して十分な介護をしてくださいという意味だったのですが.....

初心者パソコン教室の最後に、講師の先生が言われたことは、愛川町にも公共施設に誰もが自由に使えるパソコンをぜひ置いてほしいですね、ということでした。

レディスプラザやラビンプラザに自由に使えるパソコンが置いてあって、誰でも気軽にインターネット体験ができるようになればいいですね。

去年から始まった町の「生涯学習プラン」の中では、公共施設へのパソコン設置は検討課題になっています。しかし、そんな悠長にのんびり検討などしてないで、これだけニーズがあるんだから、今すぐにも、それこそ補正予算でも組んで対応してほしいですね。そんな大金をかけなくても、

◆ある調査によれば、50歳以上の半数はパソコンに関心があり使ってみようと思っているが、値段が高すぎるあるいは使い方が難しいなどの理由から、実際の利用者は10%以下に止まっているという結果がでています。

👤 初心者英会話教室

初心者英会話教室が7月27日から8月4日まで、文化会館3階会議室を使って5回のコースで行われました。

講師は中学校のAET(アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー)でお馴染みのジェニー先生。

定員15名のところ希望者が43人もあったため、急遽定員の枠を増やし、抽選で選ばれた20人の方が参加されました。うち15人は女性で、男性5人の中には定年退職をした人も何人かいらしたそうです。

みなさんとても意欲的で、最後までひとりの脱落者もいなく、とても楽しくできたそうです。コース終了後、早速カナダやニュージーランドへ出かけて行った人もいらしたとか、ちょっとうらやましいですね。

6月議会での一般質問

1. 情報化推進計画について
策定のための体制づくりはできたか
今年度のスケジュールはどうなっているか
2. ケーブルテレビについて
いままで、どのような調査・研究をしてきたか
本町における導入の可能性について
3. 幣山下平線について
生態系の調査について
道路線形、道路構造について
長期の財政計画が必要ではないか
3. 県道相模原・大磯線の歩道整備について
今後の整備計画について
整備が進まない理由とその解決策について
4. 障害者プランについて
今年度の取り組みについて
障害者施策推進協議会をすべきではないか。

情報満載、ホームページ

- ◆ 一般質問の詳しい内容は、インターネット 熊坂てつ のホームページでご覧になれます。
 1. 議事録全文(PDFファイル)
 2. 議事録全文(音声ファイル)
 3. てつの解説(質問の背景が分かって面白い)
- ◆ 6月議会に出された陳情も全文が掲載されています。
 1. 町道幣山下平線事業推進を求める陳情
 2. 半原・田代地区の全区長連名による町道幣山下平線事業推進の陳情活動の実態調査をを求める陳情
 3. 町民ひとりひとりが何の足枷もなく自由に発言できる地域社会としての町づくりを求める陳情
- ◆ トピックス! / 議会ファイル / 資料ボックス / 公文書公開News / てつちゃんReport / 明日の愛川町を語る掲示板、など情報満載です。

インターネット

ホームページいろいろ

▶ 全戸にパソコンを配布して一躍有名になった山田村(人口2008人542世帯)、パソコン教室におじいちゃんが孫と一緒にやってきて、孫から手ほどきを受ける光景は微笑ましい。▶ 北海道ニセコ町は、職員向けの「町長室日記」(=内部向けの非公式メール)を試験的に公開しているほか、町長の個人ホームページもあります。▶ 31歳、返子の長島市長も個人のホームページを開いています。とくに、日刊長島新聞は市長の活動を毎日欠かさずレポートしていて面白い。

- 👤 東京の武蔵野市と三鷹市は、愛川町の10年先を行っている感じで、とても参考になります。
- 👤 横須賀市のホームページは、日本でトップクラス、何と言っても入札情報をインターネットで流したのが画期的でした。しかも、参加自由の希望型を採用(愛川町は談合の温床と言われる指名方式)、一定の条件さえクリアすれば誰でも入札に参加できます。しかも、これだけオープンなシステムだと、まず談合は無理、それは入札の結果にも現れています。
- 👤 大和市や藤沢市は、市民同士がいろんなテーマで語り合う「電子会議室」を設けていますし、厚木市や相模原市は、市政に関するさまざまな提案をくわたしの提案BOX>で受け付けています。

👤 さて、中原中の新しい校長さん、どんな方かと思って、中原中のHPを開いてみました。すると、いらっしやいました。意志の強そうな行動派といった感じの葉山征洋先生のお顔が、アップで、にっこり笑って。ああ、この方ね、とこんなふうに欲しい情報がすぐ手に入るのがインターネット。

👤 今、高校生の間で人気があるのが「絶望の世界」>。1年経たずして、すでに、100万件的ヒットを記録しました。「今日はお弁当に虫が入ってました。後ろの席の奥田が笑ってます。」と学校でのイジメ場面からスタート、そのリアルな展開が高校生たちの共感を呼んでいます。

👤 ところで、愛川町では、コアさんやカントリーロードさんがHPを開いていますし、愛川町在住の文芸作家、米田淳一氏のHPもあります。そのほか、いま話題の幣山下平線に関する情報や、エコミュージアム、自然観察会などのお知らせも満載のNatureLandや、個性派では、チョウチョのカマキリさんや釣りの鮎三郎さんのHPが充実していておすすめです。

♥ ところで、熊坂てつのHPもよろしく。